

New Education Normal 時代の教育展開

～数学をシンキングツールとして活用する
クリティカルシンキングのカリキュラム開発～

対象 高等教育機関の学生・教職員

開催日 2022.3.17 木

会場 金沢大学角間キャンパス
自然科学本館 AV 講義室
(920-1192 金沢市角間町)

第1部 講演会

14:40 - オープニング

14:45 -

グローバルリベラルアーツ教育の領域で
クリティカルシンキングを涵養する取り組み

山本 敏幸 関西国際大学社会学部 データサイエンス専攻・教授



「教育の DX」の先には何があるのでしょうか？
私はコロナ禍以前より、海外と国内の大学生たちが、時差という壁を ICT で工夫し、同じプロジェクトチームで AI による PBL 型の学びを展開する授業をしてきました。このセッションでは、皆さんといっしょにポスト・コロナの未来社会の教育 (New Education Normal) についてシナリオプランニングして考えてみたいと思います。

16:10 - 質疑・クロージング

第2部 座談会

16:40 - 座談会 テーマ：数理・データサイエンス・AI 教育の推進

15:30 -

感染症・地球温暖化をケーススタディとした
PBL 型授業の取り組み

濱本 久二雄 関西大学教育推進部 非常勤講師



現代社会におこる様々な問題を、「数理モデル」を用いて定量的にとらえ解析する方法を知り体験することは、これからの未来社会を生きていく学生にとって、きわめて重要な「学び」であると思われます。感染症の拡大予測と、二酸化炭素の増加による地球の表面温度の上昇とを例として、数理モデルを活用し試行した授業について紹介させていただきます。

[対面]

先着 90名※

[オンライン]

300名
zoom

※新型コロナウイルスのまん延状況によっては完全オンラインで開催します。

▶下記フォームから申請ください

入力項目

- ・お名前
- ・所属
- ・メールアドレス
- ・参加形態 (対面 / zoom)



※お預かりした個人情報は、本 FD 研修会の運営業務以外には使用いたしません。

<https://forms.gle/D6gpc8D8CSrFxQ8S7>

お問い合わせ：金沢大学学務部学務課教務情報係 076-264-5159 / kjyoho@adm.kanazawa-u.ac.jp

New Education Normal 時代の教育展開

～数学をシンキングツールとして活用するクリティカルシンキングのカリキュラム開発～

講師紹介



山本 敏幸 教授 Toshiyuki Yamamoto

関西国際大学 社会学部 データサイエンス専攻・教授
関西大学 教育推進部 教育開発支援センター 研究員
台湾 亞洲大學 首座客員教授
iGroup Japan アドバイザー & TurnItIn (アジア圏 APAC) アンバサダー

1982 年 上智大学 言語科学研究科 修了 M.A. 言語学
1986 年 ウェストバージニア大学 Generative Linguistics 修了 M.A.
2002 年 インディアナ州立大学 教育工学
(インストラクショナル・デザイン、e-Learning) 修了 Ph.D.
2004 年～ 2010 年 金沢工業大学 情報フロンティア学部 教授
2010 年～ 2021 年 関西大学 教育推進部 教授
2021 年より現職

留学中に John Dewey の教育観に出会い、学修者が自ら考えて判断・行動する教育に貢献したいと思うようになった。帰国してからは、従来型の教育環境の中で、学修者が主体的に学び、その学びを e-ポートフォリオに残し、自らの学びを未来の自身の視点からアセスメントできるような学修環境の実現を目指してきた。これからのニューノーマルの時代を生きる若者たちには、クリティカルシンキング・クリエイティブシンキング力、リーダーシップ力や交渉力、課題解決力など、グローバルなチームによるフューチャースキルが必要と考えている。ニューノーマルな時代の教育のあり方を探究している。

濱本 久二雄 Kunio Hamamoto

関西大学 教育推進部 非常勤講師

1978 年 静岡大学 大学院理学研究科修士課程 数学専攻 修了
1979 年～ 2011 年 大阪府立高校 教諭
2009 年 大阪大学 大学院理学研究科後期博士課程 単位取得退学
2012 年～ 2015 年 関西大学 理工学教育開発センター 特任准教授
2015 年～ 2017 年 関西大学 理工学教育開発センター 特任教授
2017 年～ 2021 年 追手門学院大学 経済学部 非常勤講師及び
関西大学 教育開発支援センター 研究員
2021 年～ 関西大学 教育推進部 非常勤講師



約 20 年間、大阪高等学校数学教育会研究部の幹事を務めるとともに、1995 年から数年にわたり三省堂の高校数学教科書（著者代表 野崎昭弘）の執筆・編集に携わる。1980 年代から現在まで、数学教育協議会の会員として、数学教育についての活動を行ってきた。2012 年からは大学における数学教育に関わり、そのあり方についての研究と実践、試行などを行っている。特に、高校数学（+α）を活用した文理融合に向けた教育、また、その対象として気候変動などの地球環境問題に関心を持っている。（専攻：位相空間論および微分幾何学）